平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　株式会社 アドバネクス　　上場取引所　東
コード番号　5998　URL　http://www.advanex.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 加藤　雄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長　(氏名) 大野　俊也　TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,054	△8.0	242	△40.8	95	△49.9	127	614.5
24年3月期第2四半期	13,096	△19.0	409	4.1	190	△9.8	17	△80.9

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△168百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△471百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	3.08	―
24年3月期第2四半期	0.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	17,926	2,602	14.4	62.31
24年3月期	18,416	2,967	15.0	66.37

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　2,585百万円　24年3月期　2,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	―	―
25年3月期	―	―			
25年3月期(予想)			―	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	△7.1	400	△34.7	180	△61.7	140	△38.2	3.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	41,533,708 株	24年3月期	41,533,708 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	37,079 株	24年3月期	22,946 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	41,504,403 株	24年3月期2Q	39,683,871 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
（７）重要な後発事象 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の復興需要もあり内需は堅調に推移しましたが、長引く欧州債務問題を背景に、景気の減速が中国をはじめとする新興国にも波及したことから、外需関連では景気の回復が弱まりました。こうした中で、当社が関連する事業分野では、自動車業界はエコカー補助金の政策効果等により生産が伸長しましたが、ＯＡ機器市場は欧米やアジアでの景気の冷え込みの影響を受け需要が減少しました。当社におきましては、精密ばね事業とプラスチック事業において前年同四半期に比べ自動車向けの売上が伸長したものの、ＯＡ機器向けやＰＣ関連向けの売上が大きく減少しました。一方、ヒンジ事業においては、事業縮小に伴い売上高が前年同四半期に比べ減少し、損失額は大幅に縮小しました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比8.0％減の120億54百万円となり、営業利益は前年同四半期比40.8％減の２億42百万円、経常利益は前年同四半期比49.9％減の95百万円となりました。四半期純利益は、前年同四半期に子会社の異動に伴う持分変動損による特別損失が発生したのに対し、当第２四半期連結累計期間においては、昨年10月に洪水被害を受けたタイ工場における保険金収入による特別利益を計上したこと等から、前年同四半期の7.1倍の１億27百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

［精密ばね事業］

国内では、自動車向けの売上は増加したものの、ＯＡ機器向けやＰＣ関連向けの収益性の高い商品の売上高が減少しました。また海外では、アジアの売上がＯＡ機器向けや精密機器向けの売上減少から伸び悩んだほか、英国において医療機器向け等の売上が減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比6.2％減の65億39百万円となり、セグメント利益は同68.6％減の１億86百万円となりました。

［プラスチック事業］

国内では、ＯＡ機器向けの売上高が減少したものの、自動車向け製品等の売上が増加しました。また、海外においても、中国やベトナムで自動車向け等の売上が伸びました。一方、国内及び中国において賞与や賃上げ等に伴い人件費が増加したため、収益は減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比4.9％増の52億２百万円となりましたが、セグメント利益は同53.5％減の64百万円となりました。

［ヒンジ事業］

ヒンジユニット販売は、携帯電話向け事業の縮小とＰＣ向け事業の売却に伴い売上高は減少したものの、製品価格の値上げや人件費等の固定費削減を進めた結果、損失額が大幅に減少しました。売上高は前年同四半期比73.1％減の３億12百万円となり、セグメント損失は８百万円（前年同四半期は３億31百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、179億26百万円と前連結会計年度末に比べ４億90百万円減少しました。

資産の部においては、主に受取手形及び売掛金の減少により流動資産が２億96百万円減少しました。また、有形固定資産が１億44百万円、無形固定資産が23百万円、投資その他の資産が25百万円減少しました。

負債の部においては、主に支払手形及び買掛金が59百万円の減少、また借入金の返済により短期及び長期借入金が92百万円減少したことから１億25百万円減少しました。

純資産の部においては、純資産合計額が、前連結会計年度末と比べ３億65百万円減少しました。主に、当四半期連結累計期間において、１億27百万円の四半期純利益計上による増加がありましたが、円高の影響により、為替換算調整勘定のマイナス残高が２億86百万円増加したことや、M.A.C.TECHNOLOGY(MALAYSIA)SDN.BHD.の株式を追加取得したことにより、少数株主持分が１億95百万円減少したことが減少の要因になります。なお、平成24年６月21日開催の定時株主総会の決議に基づき、平成24年７月31日付で減資を実施したことにより、資本金及び資本準備金が30億64百万円減少するとともに、資本金及び資本準備金の減少により増加する金額を含めたその他資本剰余金及び別途積立金の全額を繰越利益剰余金に振り替えております。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は26億91百万円と、前連結会計年度末に比べ１億57百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により資金が９億96百万円増加（前年同四半期は４億92百万円の資金増）しました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益の増加、減価償却費による資金留保、売上債権の減少及び仕入債務の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により資金が５億90百万円減少（前年同四半期は５億51百万円の資金減）しました。

主な要因は、当社及び第一化成株式会社における国内及び海外子会社の設備投資及びM.A.C.TECHNOLOGY(MALAYSIA)SDN.BHD.の株式の追加取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により資金が１億50百万円減少（前年同四半期は30百万円の資金減）しました。

主な要因は、借入金の返済によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年７月31日に公表しました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,677,452	2,751,573
受取手形及び売掛金	5,430,587	5,157,724
商品及び製品	735,737	757,034
仕掛品	563,056	600,685
原材料及び貯蔵品	1,004,397	909,041
繰延税金資産	103	116
その他	472,889	379,324
貸倒引当金	△51,875	△19,816
流動資産合計	10,832,349	10,535,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,647,761	1,516,394
機械装置及び運搬具（純額）	2,040,649	1,849,737
土地	2,157,700	2,140,743
その他（純額）	541,058	735,558
有形固定資産合計	6,387,169	6,242,433
無形固定資産	193,114	169,786
投資その他の資産	1,004,134	978,700
固定資産合計	7,584,418	7,390,921
資産合計	18,416,767	17,926,605
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,892,379	3,832,972
短期借入金	4,859,002	4,649,974
1年内返済予定の長期借入金	1,466,081	1,511,309
未払法人税等	140,535	173,519
賞与引当金	137,395	239,043
その他	965,667	815,800
流動負債合計	11,461,060	11,222,619
固定負債		
長期借入金	1,744,864	1,816,366
繰延税金負債	308,356	313,609
退職給付引当金	1,491,161	1,565,543
環境対策引当金	7,106	4,391
資産除去債務	38,234	38,246
その他	398,490	363,370
固定負債合計	3,988,212	4,101,527
負債合計	15,449,273	15,324,147

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,451,610	1,000,000
資本剰余金	2,551,467	256,430
利益剰余金	△1,541,812	3,332,543
自己株式	△3,525	△4,408
株主資本合計	4,457,740	4,584,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,580	△14,558
為替換算調整勘定	△1,698,141	△1,984,188
その他の包括利益累計額合計	△1,702,722	△1,998,746
新株予約権	16,640	16,640
少数株主持分	195,836	－
純資産合計	2,967,494	2,602,458
負債純資産合計	18,416,767	17,926,605

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	13,096,967	12,054,278
売上原価	10,256,941	9,553,454
売上総利益	2,840,026	2,500,824
販売費及び一般管理費	2,430,866	2,258,538
営業利益	409,159	242,285
営業外収益		
受取利息	2,957	4,723
受取賃貸料	43,467	45,213
持分法による投資利益	11,182	13,836
その他	61,786	58,545
営業外収益合計	119,393	122,318
営業外費用		
支払利息	126,011	121,332
為替差損	183,937	85,143
その他	27,686	62,564
営業外費用合計	337,636	269,040
経常利益	190,917	95,564
特別利益		
固定資産売却益	804	5,390
子会社清算益	15,515	－
受取保険金	－	165,100
負ののれん発生益	－	5,627
その他	8,006	1,026
特別利益合計	24,326	177,145
特別損失		
固定資産売却損	－	902
固定資産処分損	374	75
投資有価証券評価損	8,243	17,188
減損損失	－	45,898
持分変動損失	85,375	－
訴訟関連損失	32,321	－
その他	242	－
特別損失合計	126,556	64,065
税金等調整前四半期純利益	88,686	208,643
法人税、住民税及び事業税	77,354	79,588
法人税等調整額	1,335	1,061
法人税等合計	78,690	80,649
少数株主損益調整前四半期純利益	9,996	127,994
少数株主損失（△）	△7,918	－
四半期純利益	17,914	127,994

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	9,996	127,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,683	△9,125
為替換算調整勘定	△464,889	△286,046
持分法適用会社に対する持分相当額	102	△852
その他の包括利益合計	△481,470	△296,024
四半期包括利益	△471,474	△168,029
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△437,927	△168,029
少数株主に係る四半期包括利益	△33,547	－

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,686	208,643
減価償却費	498,542	425,073
減損損失	－	45,898
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△16,550	△11,274
賞与引当金の増減額（△は減少）	49,567	103,728
退職給付引当金の増減額（△は減少）	50,994	74,569
受取利息及び受取配当金	△4,069	△6,138
支払利息	126,011	121,332
為替差損益（△は益）	△5,668	6,928
固定資産売却損益（△は益）	△804	△4,487
固定資産処分損益（△は益）	374	75
投資有価証券評価損益（△は益）	8,243	17,188
受取保険金	－	△165,100
負ののれん発生益	－	△5,627
売上債権の増減額（△は増加）	△214,404	127,963
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,753	△36,895
仕入債務の増減額（△は減少）	68,537	72,820
その他	24,454	△51,784
小計	671,160	922,914
利息及び配当金の受取額	2,679	6,138
利息の支払額	△134,492	△110,869
法人税等の支払額	△88,308	△33,351
その他	41,655	211,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,694	996,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△458,270	△473,390
有形固定資産の売却による収入	3,151	11,281
無形固定資産の取得による支出	△8,335	△5,954
無形固定資産の売却による収入	－	1,154
投資有価証券の取得による支出	△10,729	△10,472
関係会社株式の取得による支出	－	△189,889
その他	△77,402	77,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551,585	△590,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,144,375	△214,125
長期借入れによる収入	999,518	813,527
長期借入金の返済による支出	△2,114,758	△668,073
少数株主への配当金の支払額	△19	－
自己株式の増減額（△は増加）	27	△883
その他	△60,026	△80,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,882	△150,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	△174,880	△98,216
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△264,654	157,583
現金及び現金同等物の期首残高	2,464,296	2,534,107
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△265,188	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,934,454	2,691,691

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,973,552	4,961,581	1,161,833	13,096,967
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,263	458	―	39,721
計	7,012,815	4,962,040	1,161,833	13,136,689
セグメント利益又はセグメント損失（△）	593,882	139,052	△331,194	401,740

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

当社の連結子会社であるフジマイクロ株式会社は、平成23年４月28日に自己の保有していた株式を売却したことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、第１四半期連結累計期間より、持分法適用会社になりました。

この影響により、モーター事業の資産の額が1,988,356千円減少しております。

３．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	401,740
セグメント間取引消去	7,040
その他の調整額	378
四半期連結損益計算書の営業利益	409,159

４．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結累計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業、モーター事業、ヒンジ事業で記載していましたが、主として、モーター事業を行っていた当社の子会社フジマイクロ株式会社が、平成23年４月28日に、自己の保有していた株式を売却したことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、持分法適用関連会社になりました。その結果、第１四半期連結累計期間において、連結子会社でありましたフジマイクロ株式会社を連結の範囲から除外したことに伴いモーター事業区分を廃止いたしました。

５．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,539,777	5,202,275	312,226	12,054,278
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,223	10,211	―	51,435
計	6,581,000	5,121,487	312,226	12,105,714
セグメント利益又はセグメント損失（△）	186,314	64,591	△8,492	242,413

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	242,413
セグメント間取引消去	△127
四半期連結損益計算書の営業利益	242,285

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ヒンジ事業」セグメントにおいて、売却予定の資産の帳簿価額を売却予定価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、45,898千円であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年６月21日開催の定時株主総会決議により、平成24年７月31日付で会社法第447条第１項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が2,451,610千円、資本準備金が612,902千円減少し、当第２四半期連結会計期間末において資本金が1,000,000千円となっております。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。